

# バイオサイエンスの時代を語ろう サラヤの衛生・環境・健康へのチャレンジ!

コロナのワクチン開発で日本は遅れをとりましたが、2022年にはやっと日本製のワクチンや治療薬の開発・商品化が、視野に入ってきました。「頑張れニッポン!」。遅れを取り戻し、欧米に伍して対応するチャンスはまだ存在します。これからバイオサイエンスの時代を迎え、ワクチンばかりでなく、われわれは一丸となってバイオサイエンスの新しい技術開発とビジネス化を進めていきましょう。さて、サラヤは「衛生・環境・健康のビジネス開発」をキーワードに、コロナ禍においては、手指衛生、個人防護具などの販売に、日本のみならず、世界各地で営業を展開し躍進しました。これからのバイオサイエンスの時代を迎えるにあたって、サラヤの「衛生・環境・健康」への取り組みを語っていただき、大いにチャレンジを深めましょう。なお本セミナーは、リアルとオンラインのハイブリッド型セミナーになります。

**参加費無料**



**SARAYA**

サラヤ株式会社 代表取締役  
**更家 悠介 氏**

## 講師プロフィール

### 【略歴】

1974年 大阪大学 工学部 卒業  
1975年 カリフォルニア大学バークレー校  
工学部衛生工学科 修士課程修了  
1976年 サラヤ株式会社 入社、取締役工場長 就任  
1979年 同 社 常務取締役 就任  
1980年 同 社 専務取締役 就任  
1998年 同 社 代表取締役社長 就任

### 【主な公職等】

大阪商工会議所 常議員／一般社団法人 関西経済同  
友会 常任幹事／公益社団法人 日本食品衛生協会  
理事／一般社団法人 生産技術振興協会 常務理事／  
公益社団法人 日本WHO協会 副理事長／在大阪  
ウガンダ共和国名誉領事

## 主な講演内容

- 命輝く未来社会のデザイン、万博とSDGs
- グローバルな問題をビジネスで解決
- サラヤの小史 手洗い物語
- コロナ禍、サラヤはかく戦えり
- 生物多様性の保全、アジアとボルネオ
- ウガンダ アフリカのビジネス
- 抗生物質耐性菌の話
- 手洗い世界ナンバーワン
- 新たに始める健康ビジネス、ラカント、ビタレーザ事業
- ラピッドフリーザー、シュットマン
- プラスチック海洋汚染への対応、バイオを環境問題に

日時 2022年 **2月1日** 火 14:00～ 講演後、質疑応答、名刺交換を予定  
(会場参加 希望者のみ) ※16:00終了予定

会場 **茨木商工会議所** 茨木市岩倉町2-150 立命館いばらきフューチャープラザ1F  
※茨木商工会議所の専用駐車場はございません。

定員 **会場参加 ▶ 40名**  
※受講票は発行いたしません。  
**オンライン ▶ 50名 (Zoomウェビナー)**  
※開催日の約1週間前に受講用URLをお送りします。

締切は1月24日ですが、先着順、定員になりしだい締め切ります。  
あらかじめご了承ください。  
定員超過によりお断りする場合のみご連絡いたします。  
会場参加で受付完了の方にはご連絡ならびに受講票発行はいたしません。

対象 **ライフサイエンス産業の事業展開や新規参入を検討している、および本テーマに関心のある方**  
セミナー受講条件: セミナー受講後、アンケートに回答いただける方

申込 **FAXまたは茨木商工会議所ホームページからお申込みください。**

主催 **茨木商工会議所／摂津市商工会／彩都ヒルズクラブ(事務局: バイオ・サイト・キャピタル(株)、八洲薬品(株))  
大阪バイオ・ヘッドクォーター(事務局: 大阪府)／茨木市**

問合せ先 **茨木商工会議所 ☎072-622-6631** ✉ info@ibaraki-cci.or.jp